

2016年2月10日

参照番号:185205

日本の教員、学校運営関係者、ツアーオペレータ各位

拝啓 時下ますますご健勝の由、心からお喜び申し上げます。

さて、本日はカナダ・ブリティッシュコロンビア州を代表し、並びに初等・中等教育担当教育大臣として、ブリティッシュコロンビア州をぜひ留学先、修学旅行先としてお考えいただきたく筆を執っております。

生徒の学力に関する国際基準によりますと、ブリティッシュコロンビア州には日本と同様、世界でも有数の優れた教育制度が整備されています。我が州の学校は豊かな文化に恵まれた教育環境が整い、教員をはじめ生徒たちは、留学生と共に学び、お互いから学びあうことに大きな喜びを見出しています。

毎年1万3500人余りの日本からの留学生が長期間ブリティッシュコロンビア州で学んでおり、そのうち800人余りが初等・中等学校への留学生です。これよりさらに多くの日本の生徒が修学旅行でブリティッシュコロンビア州を訪れています。長年にわたる日本とブリティッシュコロンビア州の深いつながりの歴史を鑑みると、たいへん多くの日本の生徒が訪問先としてブリティッシュコロンビア州を選んでいることや、非常に多くのブリティッシュコロンビア州の若者が日本を訪問したり、留学したり、日本で教鞭をとっていることは驚くべきことではありません。

私の前任者、ピーター・ファスベンダーは幸運なことに教育大臣として2015年6月に日本を訪れ、日本の文部科学省と教育に関する同意書に署名しました。二つ目の同意書も2015年9月に東京都教育委員会と締結されました。両同意書とも、ブリティッシュコロンビア州と日本の間での生徒の行き来を増やすことの重要性について謳っています。

来る2016年3月22日に修学旅行先としてのブリティッシュコロンビア州を皆様により良く知っていただくために東京で2回目のブリティッシュコロンビア州セミナーを開催いたしますので、お忙しいとは存じますがぜひご出席を賜りますようご案内申し上げます。是非ブリティッシュコロンビア州に親しんでいただき、留学先、また旅行先として検討していただけますよう心から希望いたしますと同時に、近々皆さまを歓迎させていただくことを楽しみにしております。

敬具

Mike Bernier(マイク・バーニエ)

教育大臣

CONSULATE GENERAL OF JAPAN

900 - 1177 WEST HASTINGS STREET
VANCOUVER, B.C., CANADA V6E 2K9
TEL: 604-684-5868 FAX: 604-684-6939

岡田誠司 在バンクーバー日本国総領事からのご挨拶



最近のニュースで TPP 環太平洋パートナーシップ協定（以下、TPP）が報道で多く取り上げられていることは、皆様ご認識のとおりだと思います。TPP は、世界の GDP の約 4 割（3,100 兆円）という、かつてない規模の経済圏をカバーした経済連携であり、人口 8 億人という巨大市場が創出されます。TPP は、大企業だけでなく、地方の中堅・中小企業の事業展開や、農産品輸出等にとっても大きなチャンスをもたらすものです。また、我が国は、今後とも日 EU・EPA、東アジア地域包括的経済連携（RCEP）、日中韓 FTA など、他の広域経済連携の交渉も加速していくことになります。我が国は少子高齢化が進み国内市場が縮小していく中、如何にこうした経済連携等を活用していくかが重要であり、そのためには、海外から優秀な人材を取り込んでいくとともに、国際的に活躍ができる人材を着実に育成していくことが大きな課題と言えます。また、経済的な視点以外でも、科学・学術、文化・芸術、スポーツといった様々な分野においても国際的に活躍できる人材が期待されていることは言を俟たないところです。そうした観点で、若い世代が実際に他国に赴き、実体験として海外の社会、文化、自然に触れる機会を得ることは、自身の将来の道を切り開く上でとても有意義な切っ掛けとなると思います。

私ども、在バンクーバー日本国総領事館は、ブリティッシュ・コロンビア（以下、BC）州政府及びその関連機関、日本からの各種教育旅行の受入れを積極的に行っている日本企業と共にワーキング・グループを立ち上げ、約 2 年にわたり修学旅行など教育旅行に焦点をあて、我が国から BC 州への教育旅行の増加・促進を図ってまいりました。この「BC 州修学旅行・教育旅行セミナー」もその一環として実施しているもので、学校関係者や教育旅行関係者の皆さまにご説明の機会が得られることを大変喜ばしく思っております。

現在、私は、在バンクーバー日本国総領事館に係わった当地日系コミュニティの歴史を紐解く取り組みをしております。在バンクーバー日本国総領事館は今年で設立 127 年目を数え、カナダで最も古く、北米大陸の中でも 5 番目に古い在外公館です。当地に日本人が移り住んでから既に 100 年以上の長い歴史があります。その間は、決して平穏な日々だけでなく、第二次世界大戦中の日系人の強制収容など当地日系コミュニティにとって苦難の歴史もあります。他方、カナダは、前述の TPP の参加国でもあります。日本にとって基本的価値を共有するアジア太平洋地域の重要なパートナーです。特に、太平洋に面した BC 州は、日本へのゲートウェイとして、現在、同州の在留邦人は、バンクーバー市やその近郊を中心に 3 万人を超えています。また、当地への進出日系企業については、林業、鉱業、観光業などの集積に加え、日本企業が参画する LNG プロジェクト計画や日本のゲーム開発企業の進出など新たな動きもあります。さらに、現在、BC 州及び日本の自治体同士の姉妹都市提携数は 34 組にも及びます。このように日本と長い歴史的關係があり、また、最近においては緊密な経済的關係を有する BC 州は教育旅行の対象としてとても興味深い地であり、生徒の皆さんが当地を訪れ、例えば、過去から現代までの日本と BC 州の關係を学ぶ機会を得られれば、海外から見た日本の歴史や他国との係わり合いなどを知る良い契機にもなるのではないのでしょうか。

そして、勉強や体験学習に集中できる BC 州の安心な環境も大きな魅力であり、修学旅行など教育旅行の機会を持たれることは、生徒の皆さんにとってとても得がたい経験となることでしょう。最後になりますが、生徒の皆さん、学校関係者及び教育旅行関係者の皆さまの、ご健勝並びに益々のご発展をお祈り申し上げます。

2016年2月

在バンクーバー日本国総領事 岡田 誠司

岡田 誠司



February 10, 2016

Ref: 185205

To: Teachers, Administrators and Tour Operators in Japan

On behalf of the Province of British Columbia, Canada, and as the Minister of Education responsible for elementary and secondary school education, I invite you to choose British Columbia as a study and as a *Shugaku Ryoko* destination.

According to international standards of student performance, British Columbia, like Japan, has one of the highest-performing education systems in the world. Our schools are culturally rich academic environments where teachers and students are happy to share and learn from, and with, international students.

Each year, more than 13,500 Japanese long-term students study in British Columbia, with over 800 at the elementary and secondary level. Many more Japanese students visit British Columbia as part of a *Shugaku Ryoko* experience. Given the long-standing history between Japan and British Columbia, it is not surprising that so many Japanese students choose British Columbia, and that so many young British Columbians choose to visit, study and teach in Japan.

My predecessor, the Honourable Peter Fassbender, was fortunate enough to travel to Japan as Minister of Education in June 2015. There, he signed an education-related agreement with Japan's Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology. A second agreement was signed in September 2015, with the Tokyo Metropolitan Government Board of Education. Both agreements discuss the importance of increasing the movement of students between British Columbia and Japan.

I am, therefore, pleased to welcome you on March 22, 2016, to the second British Columbia seminar in Tokyo, promoting British Columbia as a destination for *Shugaku Ryoko*. I wholeheartedly encourage you to explore and enjoy British Columbia as a study and a travel destination and look forward to welcoming you in the near future.

Sincerely,

Mike Bernier
Minister